

2025(令和7)年度 杏林大学〈後期〉市民聴講生講座 募集要項

■ 提供科目

※ 曜日・時限・授業内容・授業形態が変更の可能性もあります。
※ 祝日開講する講座もあります。 予めご了承下さい。

2025/6/11 改訂

No.	時期	講座名／講師名	講 座 内 容	期間／曜日／時間
14	後期	健康・医療心理学 古川 綾子 保健学部 講師	健康・医療心理学では、医療と保健・産業領域における支援の可能性とその基礎となる理論を修得する。また公認心理師は、精神的な疾患を呈する人のみではなく、全ての人々を対象とする。災害時の支援や健康に生きていく上での予防教育等について身に付けておくべき知識を修得する。	9/22～2026/1/5 ※14回目講義日は 12/24(水) 毎週月曜日・2限 10:40～12:10
15	後期	高齢者福祉論 片桐 朝美 保健学部 教授	現代の高齢者福祉は、基本学習段階においても法・制度を抜きに学ぶことは難しい。本講義では、まず高齢者の身体的特徴および生活環境問題について触れる。これらを踏まえ、複雑かつ、めまぐるしく変化してきた法律・制度の創設背景と法改正趣旨をわかりやすく説明し、現行制度の位置づけが理解できるよう展開していく。また、援助の具体的な理解が深まるような資料映像や事例などを用いて高齢者の生活と制度を関連付けられるように進めていく。	9/18～2026/1/8 毎週木曜日・2限 10:40～12:10
16	後期	英語学演習Ⅳ (英語教育と学習理論) 八木橋 宏勇 外国語学部 教授	本講義は、認知言語学・第二言語習得について、「担当者が主導するディスカッション形式の基礎演習」と「学生によるプレゼンテーションと発展演習」の二本立てで展開される予定である。「用法基盤モデル」の観点から日常の言語現象をより分析的に考えられるようにトレーニングを行い、ことばに関する様々な現象への興味関心および洞察力を深めていく。最終的には、発展的で意義のある疑問を抱き、考え抜いてその疑問を解決に導く、という主体的な思考経験を積み重ねることで「問題発見力」「問題解決力」を「学問を通して」身につける。	9/22～2026/1/5 ※14回目講義日は 12/24(水) 毎週月曜日・5限 16:20～17:50
17	後期	コミュニケーション概論 八木橋 宏勇 外国語学部 教授	本講義はいわゆる「グローバルコミュニケーション」の視点に立ち、日本語や英語という言語をとりまく世界的な状況の変化を踏まえながら、認知言語学・社会言語学・語用論のエッセンスを実例とともに講義していく。グローバル化した社会における日本語・英語・リンガフランカ(共通語)としての英語、非英語圏で多様化し土着化した独特な英語、日本における英語、日本語との対照における英語、といった諸側面を材料としながら、日本語と英語のコミュニケーションを様々なコンテキストで検討する予定である。	9/18～2026/1/8 毎週木曜日・4限 14:40～16:10
18	後期	英語学演習Ⅰ (文のしくみ) 稲垣 大輔 外国語学部 教授	今日、好むと好まざるとにかかわらず、情報の多くは英語で世界中を駆け巡っています。多くの学問分野の先端的情報も英語で発信されています。もし、その情報を得たければ、英語を読むことを通して得なければなりません。また、もし、自分の主張を世界の人々に向けて発信したければ、英語でそれを書かざるをえません。 この授業では、英語で書かれた英語学関連、主に統語論を扱った論文を演習形式で輪読します。統語論の基本的な考え方、理論的枠組、専門用語の概念などを理解した上で、論文の主張を正しく理解する能力を養います。 同時に、手本となる良い論文を読むことを通して、論文の全体的構成、論文の骨組みになる基本的な表現、議論の的確に展開する表現などを学び、実際に自分で使えるようになるアカデミックライティングの能力を身につけます。	9/23(火:祝)～ 2026/1/6(火) ※祝日開講日を含む 9/17(水)～ 2026/1/7(水) 毎週火曜日・3限 毎週火曜日・4限 ※2コマのうちどちらか 選択可 13:00～14:30(3限) 14:40～16:10(4限)
19	後期	韓国語圏研究 鄭 英淑 外国語学部 教授	この講義では北朝鮮について研究していく。北朝鮮研究と、春学期の韓国の文学・文化研究によって韓国語圏研究がまとまることになる。北東アジアの安定を乱す最大の原因である北朝鮮を研究することは朝鮮半島の安定だけでなく、日本の安全保障さらには世界の平和のために欠かせないことである。そこで、ここでは未知の隣国でもある北朝鮮について、一つのテーマに特化させないで、できるだけ多くの分野を網羅的に扱っていく。	9/19～2026/1/9 毎週金曜日・4限 14:40～16:10
20	後期	国際会計基準論 内藤 高雄 総合政策学部 教授	近年、多国籍企業の増大、経済・資本市場のボーダレス化、金融の自由化・国際化にともない、会計制度は急速にグローバル化されてきた。本講義では国際会計の諸問題を、国際取引会計、比較制度会計、会計制度の国際的統一の3つのカテゴリーに分けながら、それぞれについて詳説していくことにする。その際、現在、IFRSやIASという名称で話題になっている、会計制度の国際的統一の問題に力点を入れながら、最新の状況を織り込みながら、講義していく。	9/19～2026/1/9 毎週金曜日・4限 14:40～16:10
21	後期	国際政治経済学 三浦 秀之 総合政策学部 教授	国際社会はアナーキーである。つまり、国内社会と異なり、中央政府が存在しないのである。しかしながら、そのことは国際社会に秩序が存在しないことを意味するのではない。国際社会は様々な制度を構築することにより、国境を越える経済的に問題に対処してきたのである。本講義では、国際政治経済学の基礎を体系的に学ぶことを目指しています。具体的には、近代以降の国家間の経済関係(特に貿易や投資の自由化)の政治的側面に焦点を当て、概観していきます。	9/23(祝)～ 2026/1/6 ※祝日開講日を含む 毎週火曜日・1限 9:00～10:30

2025(令和7)年度 杏林大学〈後期〉市民聴講生講座 募集要項

■ 提供科目

※ 曜日・時限・授業内容・授業形態が変更の可能性もあります。
※ 祝日開講する講座もあります。 予めご了承下さい。

2025/6/11 改訂

No.	時期	講座名／講師名	講 座 内 容	期間／曜日／時間
22	後期	経営学総論 谷 真哉 総合政策学部 講師	この講義では、最新の経営理論やフレームワークなど、現代企業において欠かすことのできない考え方について整理し、こうした経営学の概念を実践に活用できるよう、最新の事例を基に学習する。 日常的に、自分自身の回りにある企業や経営に関わる事象(CM、製品・サービス、アルバイト、経営者など)に関心を払い、日頃から新聞・ニュース・雑誌などで情報を集めること。また好きな企業・経営者の本を読んで、講義の内容との関連について考える。	9/19～2026/1/9 毎週金曜日・4限 14:40～16:10
23	後期	ヨーロッパ政治論 島村 直幸 総合政策学部 准教授	西ヨーロッパ地域は、17世紀以降の近代の国際システムにとって主要な舞台であった。また19世紀後半の帝国主義の時代に、「西欧国家体系」と呼ばれる国際システムは、世界大に拡大した。しかし、20世紀後半の米ソ冷戦の時代も、アメリカとソ連の2つの超大国にとって、ヨーロッパは、お互いに死活的な国益にかかわる地域であった。 講義では、まず以上の点を取り上げ、主権国家システムの歴史的な変遷を学ぶ。同時に、国際関係史の基礎知識を身につけることを目的とする。次いで、英米関係の400年を取り上げる。特に、「特別な関係」と呼ばれるようになる第二次世界大戦後を講義で詳しく説明する。英米関係を見ることは、日米関係を見る上でも役に立つと期待できる。	9/18～2026/1/8 毎週木曜 3限 13:00～14:30
24	後期	時事問題研究B<秋> 島村 直幸 総合政策学部 准教授	国際政治経済の時事問題について、レジュメや新聞記事などを題材にして理解を深めていく。 2016年は、アメリカ大統領選挙や日本の参議院選挙など、国際的に選挙の年であった。2017年は、ドナルド・トランプがアメリカの新しい大統領となった。2018年にはトランプ外交が本格的に始動した。2018年から2020年にかけては、米中貿易戦争が勃発している。米中間で「新しい冷戦」まで指摘された。2020年は、アメリカ大統領選挙があり、2021年にジョセフ・バイデンが新しい大統領となった。 また、BRICSなど新興国の台頭を受け、地政学が復活した、という議論もある。「イスラーム国(IS)」の脅威の衰退後も、シリアの内戦やイラン問題など、中東情勢は混迷を深めている。アメリカ外交は、オバマ政権の下で、迷走を深めた。トランプ外交は、混迷を極めた。「インド太平洋戦略」と「中間層のための外交」を推進するバイデン政権の政策対応が注目される。 21世紀の国際秩序は、いかなる方向へ向かうのであろうか。	9/22～2026/1/5 ※14回目講義日は 12/24(水) 毎週月曜日・4限 14:40～16:10 ※前期と同じ内容です
25	後期	租税法Ⅱ 若林 俊之 総合政策学部 非常勤講師	租税法の講義である。租税法Ⅰに引き続いて、租税法の共通事項について修得する。 この講義では、具体的な税目として、消費税法や個別間接税法、地方税法、法人税法などを取り上げて、多様な角度から租税法の基本的な理論と考え方を学ぶ。また納税者の立場から、日々の税務上の課題と税制改革や財政政策とのかわりについても論じる。	9/19～2026/1/9 毎週金曜日・1限 9:00～10:30
26	後期	中国の歴史 森 和 外国語学部 准教授	中国の歴史は俗に「中国〇千年」と言われるほど長く、時代時代でその様相も大きく異なります。この講座では、大陸に文明の芽生えが認めらる頃から東アジア地域に初めて一つの世界秩序を完成させた唐代までの歴史を取り上げます。中国古代史の基礎知識やそれぞれの時代の特徴を理解し、原典史料(漢文)を読み解きながら、個々のテーマについて考えます。そして、中国的なモノ・コトへの興味・関心を広げ、異文化理解を深めてゆきます。	9/18～2026/1/8 毎週木曜日・4限 14:40～16:10
27	後期	フードビジネス論 西山 桂子 外国語学部 准教授	外食産業は、多種多様な業態が開発され変化の激しい産業である。本講義では、外食産業の歴史、競争環境や組織構造のほか、この産業に特徴的なオペレーションシステムや多店舗展開、垂直統合などについて具体的事例を分析しながら学ぶ。フードテックなどの最新トピックや企業の新しい取り組みを紹介し、計数管理とサービスの両面から外食企業の経営を体系的に学ぶ。	9/22～2026/1/5 ※14回目講義日は 12/24(水) 毎週月曜日・2限 10:40～12:10
28	後期	環境経済学 斉藤 崇 総合政策学部 教授	TVやインターネットなどで、環境問題の話題にふれることは、日常的なものになっている。環境汚染がなぜ起こるのか、それをどのように解決していったらよいか、ということについては、いろいろな学問的立場から考えていくことができる。そのなかで、「社会の仕組み」から環境問題について考えていくことの重要性が高まってきている。 この授業では、社会の仕組みをとらえる学問の1つである経済学の立場から環境問題を眺めていく。講義は大きく3つの部分から構成されている。まず地球温暖化やオゾン層破壊など、地球規模での環境問題を例にとって経済学的な切り口を中心として掘り下げていく。次に環境問題が悪化してしまう要因、あるいは環境保全がなかなか進まない背景について、経済活動と環境負荷の関係に注目しながら考えていく。そして最後に環境保全と経済活動をどのように両立させていったらよいかを考えていく。ここでは環境ビジネスについても取り上げていく予定である。 環境問題のすべてを経済学の視点だけで考えていくことは難しいかもしれないが、経済学の切り口から新たに明らかになるものもある。受講する学生は、この授業を通じて、これまでとは異なった見方で環境問題について考えることができるようになって欲しいと考えている。	9/18～2026/1/8 毎週木曜日・1限 9:00～10:30

シラバスはこちらから確認することができます。→



【申込受付期間】 前期期間 2025年3月 1日(土)～3月18日(火)
後期期間 2025年7月15日(火)～8月16日(土)

前期：受付終了しました

【対 象】 原則、18歳以上の方で、大学レベルの講義に関して学習意欲のある方。

【募 集 人 員】 各講座 5名まで（申込多数の場合は、締切前に申込をお断りすることもあります）

【受 講 料】 1科目 11,000円

※ 三鷹市在住の18歳以上の市民(学生を除く)の場合、年間1科目を限度に1,500円を助成します。

助成を希望される方は証明書類(運転免許証・健康保険証等)を三鷹ネットワーク大学 申込窓口にて提示ください。

※ 教材費がある場合は、実費負担となります。

【申込・支払方法】 三鷹ネットワーク大学の窓口で現金にて支払(受講申込書あり)

■ 注意事項等

- ◇ 講義は正規学生と共に受けていただきます。(授業運営や内容は正規学生に向けた構成です)
- ◇ 学内のルールを守られない方や正規学生及び他の受講生、教職員への迷惑行為をされた方は期間中でも受講をお断りします。(受講料の返還はありません)
- ◇ 欠席された場合、原則として講義のレジュメ等の取り置きはいたしませんのでご了承下さい。
- ◇ 一旦申込まれた講座の変更は原則としてできません。(受講料の返還はありません)
- ◇ 公共交通機関をご利用下さい。聴講生向けの駐車場・駐輪場はありません。
- ◇ 講義は原則として対面形式で行われますが、変更となる可能性もあります。
- ◇ 休講情報等、大学からの連絡は原則e-mailで行いますので

PC・タブレット・スマートフォンいずれかの機器をご用意いただき、e-mailの送受信ができるよう予めご準備下さい。

※ 機器をお持ちでない方は別途ご案内させていただきます。詳細はお問合せ下さい。

市民聴講生講座に関する問い合わせ先

杏林大学（井の頭キャンパス） 地域交流課

〒181-8612

東京都三鷹市下連雀5-4-1

TEL：0422-47-8000 （代表）

窓口取扱時間

平日：9：00～17：00

土曜：9：00～12：00

申 込・支 払

特定非営利活動法人

三鷹ネットワーク大学推進機構

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-24-3

三鷹駅前協同ビル 3 階

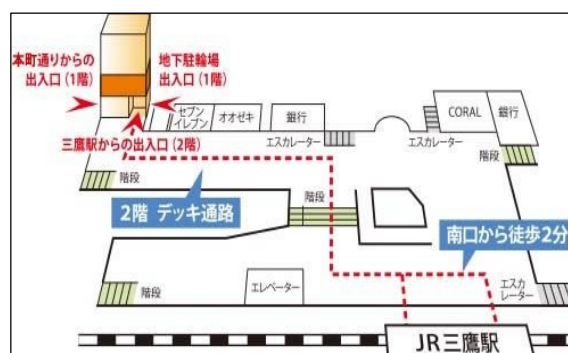
TEL：0422-40-0313

開館時間

火曜日～土曜日：9：30～21：30

(入館は21：00まで)

日 曜 日：9：30～17：00



杏林大学 2025(令和7)年度 後期 開講日程

曜日 回	月	火	水	木	金	土
第1回	9月22日	9月23日 ※祝日開講	9月17日	9月18日	9月19日	9月20日
第2回	9月29日	9月30日	9月24日	9月25日	9月26日	9月27日
第3回	10月6日	10月7日	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日
第4回	10月13日 ※祝日開講	10月14日	10月8日	10月9日	10月10日	10月11日 ※3限より補講
第5回	10月20日	10月21日	10月15日	10月16日	10月17日	10月18日
第6回	11月3日 ※祝日開講	10月28日	10月22日	10月23日	10月31日	11月1日
第7回	11月10日	11月4日	10月29日	10月30日	11月7日	11月8日 ※3限より補講
第8回	11月17日	11月11日	11月5日	11月6日	11月14日	11月15日 ※8回目・9回目
第9回	11月24日 ※祝日開講	11月18日	11月12日	11月13日	11月21日	
第10回	12月1日	11月25日	11月19日	11月20日	11月28日	11月22日
第11回	12月8日	12月2日	11月26日	11月27日	12月5日	11月29日
第12回	12月15日	12月9日	12月3日	12月4日	12月12日	12月6日
第13回	12月22日	12月16日	12月10日	12月11日	12月19日	12月13日
第14回	12月24日(水) ※第14回目は 水曜日です	12月23日	12月17日	12月18日	12月26日	12月20日
第15回	2026(令和8)年 1月5日	2026(令和8)年 1月6日	2026(令和8)年 1月7日	2026(令和8)年 1月8日	2026(令和8)年 1月9日	2026(令和8)年 1月10日
補講日	12月25日(木) 12月27日(土) 2026(令和6)年1月13日(火)～1月14日(水)					
定期試験 期間	1月15日(木)～1月26日(月) ※科目により定期試験を実施します。聴講生は受験は任意となり、成績評価はつきません。					

※祝日開講は授業実施日です

11/11は杏林学園の創立記念日となります。授業実施日です。